

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月30日

団体名 千万町・木下ふるさとづくり委員会

代表者 委員長 荻野 嘉美

構成員 34人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

「千万町楽校」(旧千万町小学校跡地)を拠点として、山里の宝を活かした千万町町及び木下町のふるさとづくり事業の企画立案、運営を行う。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
5月31日	千万町楽校	閉校跡地 地域と市民 親子	約80人	山の小さな音楽会(ヒマナシスターズとモネダンスクラブ)の演奏と歌を楽しんだ。
8月24日	千万町楽校	閉校跡地 地域と市民 親子	約100人	ニジマスつかみとBBQ体験を、親子が主体となって夏の自然体験と食体験を楽しんだ。
9月27日	千万町楽校	閉校跡地 地域と市民 子どもたち	約80人	千万町ジャズ祭り 野外でのジャズ演奏を満喫できた。
10月1日~ 11月3日	千万町楽校	閉校跡地 地域の芸術家 子どもたち	約280人	額田に根ざす山里アートの作家さんと保育園・宮崎小学校児童の作品展とアート体験、五平餅と蕎麦打ちなど食の体験も味わう。
12月7日	千万町楽校	閉校跡地 地域と市民 子どもたち	約60人	お正月飾り作りと餅つき体験を講師と地域の先生を中心に冬の自然体験と食体験をすることができた。
3月1日	千万町楽校	閉校跡地 地域と市民 子どもたち	約20人	千万町棚田へのウォーキングと地域の先生と五平餅づくり体験を楽しむことができた。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

山里のお宝を活かしたふるさとづくりをいろいろな出逢いとつながりを活かして、継続していけるような取り組みが、岡崎市全体の地域づくりにもつながっていくのではないかと思います。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

平成 21 年度をもって閉校した旧千万町小学校の跡地を、「心のふるさと千万町楽校」として地域づくりの拠点として地域の人々が主体となって、都会からの親子が参加して、自然体験やアート体験、食の体験などを通じて楽しみながら、ふれあいと交流を深める取り組みになった。地域づくりの担い手や後継者づくりなど課題もあるが、ふるさとづくりを続けていることの意味が大きいと思う。